

2024 年度

事業報告書

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

公益社団法人 臨床心臓病学教育研究会

2024 年度事業報告書

公益目的事業 1. 医療従事者（医師、薬剤師、研修医、看護師、臨床検査技師、医学生等）の能力・資質向上を図るための研修事業

1. 研修事業：医療従事者の能力・資質向上を図るための下記研修事業等を行った。

(1) 臨床心臓病研修会（医療者向け）

[大阪府医師会生涯研修認定]

会場参加と Web 参加を組み合わせ、予定した全研修会を開催することができた。

開催日：下記の通り。（参加者：会場 42 名、Web 101 名 計 143 名）

時 間：15:00～16:30 会 場：ジェックス研修センター

開催日	テーマ	講 師
4 月 20 日	『地域で心不全再入院予防を目指す レインボープロジェクト』 (会場 4 名, Web16 名)	枚方市公済病院 循環器内科部長 藤田亮子先生
5 月 18 日	『最新の PCI 治療と抗血小板療法～低用量アスピリンと胃潰瘍再発抑制を含めて』 (会場 6 名, Web19 名)	祐生会みどりヶ丘病院 循環器内科部長 羽野 嘉文 先生
6 月 15 日	『高血圧への挑戦：降圧治療の必要性、 新たな選択肢である ARNI とは？』 (会場 7 名, Web12 名)	大阪医科大学 専門教授／腎臓内科 森 龍彦先生
9 月 21 日	『サステナブルな糖尿病治療を考える』 (会場 4 名, Web 8 名)	北摂総合病院 糖尿病・内分泌内科部長 竹内 徹先生
10 月 19 日	『これからの虚血性心疾患の診断・治療 ～冠小循環障害を中心に～』 (会場 6 名 Web13 名)	社会医療法人愛仁会 高槻病院 循環器内科 主任部長 中島 健爾 先生
11 月 16 日	『心房細動治療の A B C』 (会場 3 名 Web15 名)	高槻病院 副院長 不整脈センター長 山城 荒平 先生
1 月 18 日	『糖尿病と脂質異常症』 (会場 5 名 Web11 名)	大阪医科薬科大学三島南病院 副院長 大西 峰樹 先生
2 月 15 日	『腎性貧血治療のススメ』 (会場 7 名 Web7 名)	社会医療法人愛仁会高槻病院 腎臓内科 主任部長 高橋 利和 先生

2024 年度事業報告書

(2) 循環器専門ナース研修

会 場：ジェックス研修センター

参加資格：1. 准看護師と看護師(1 年以上)合わせて満 5 年以上の実務経験者
2. 満 5 年以上の実務経験を有する医療関係者(薬剤師、臨床検査技師等)

研修時間：8 日間 計 40 時間

開催形式：講義は Zoom 形式による Web 受講と、会場での対面受講の選択制。参加者は、日程ごとに自身で選択することができる方法を採用。

対面研修（症例検討・イチロー研修計 2 日間）はジェックス研修センターで 2 グループに分けて対面で実施。

【夏季コース】参 加 者：48 名

開催日時：講 義（6 日間） 2024 年 7 月 13 日（土）～ 8 月 11 日（日）

対面研修（2 日間） B グループ 9 月 7・8 日 A グループ 11 月 2・3 日

※A グループ対面研修は、当初 8 月の予定であったが、台風のため 11 月に延期。

【冬季コース】参 加 者：47 名

開催日時：Web 講義（6 日間） 2025 年 1 月 11 日（土）～ 2 月 9 日（日）

対面研修（2 日間） A グループ 2025 年 2 月 22・23 日

B グループ 2025 年 3 月 1 日・2 日

【講義内容】

講義内容	講師(敬称略)
不整脈治療～非弁膜症性心房細動を中心に～	岡 崇史
循環器解剖学	寺崎 文生
循環器生理学	岩永 善高
虚血性心疾患	猪子 森明
ペースメーカー・ICD と不整脈	西本 泰久
循環器薬理学	佐古 守人
高血圧と低血圧	野里 陽一
慢性心不全患者の看護	中 麻規子
静脈血栓症（VTE）の診断と治療	和泉 俊明
即治療を要する不整脈とアブレーション	栗田 隆志
心不全：原因、メカニズム、治療法	坂田 泰史
心不全の外科的治療（心臓手術・心移植）	戸田 宏一
心臓リハビリ	佐藤 真治
心臓の非侵襲的画像検査	谷口 泰代
緩和ケア	田中有紀子
看護師のための心不全の栄養サポート	真 壁 昇
急性心不全の看護	越智 恭子
カテ・カンファレンス	森井 功

[講師陣] (敬称略・順不同・肩書は研修時点) 22 名

高階 經和	公益社団法人臨床心臓病学教育研究会 (JECCS) 理事長
木野 昌也	公益社団法人臨床心臓病学教育研究会 (JECCS) 会長 仙養会北摂総合病院理事長
斎藤 隆晴	仙養会北摂総合病院 健診科部長 兼 健康管理センター長 (JECCS 業務執行理事)
天野 利男	天野内科循環器科院長 (JECCS 理事)
猪子 森明	田附興風会医学研究所北野病院 心臓センター循環器内科主任部長 (JECCS 理事)
真壁 昇	関西電力病院 疾患栄養治療センター栄養管理室長 (JECCS 理事)
和泉 俊明	恩賜財団大阪府済生会野江病院 循環器内科部長
岩永 善高	桜橋渡辺未来医療病院 副院長
岡 崇史	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学特任講師
栗田 隆志	近畿大学病院 心臓血管センター教授
坂田 泰史	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授
佐古 守人	医療法人橘会 東住吉森本病院薬剤部臨床薬剤科科長
佐藤 真治	帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科 教授
寺崎 文生	社会福祉法人あじろぎ会宇治病院副院長 大阪医科薬科大学功労教授
田中有紀子	大阪府立病院機構大阪国際がんセンター がん看護専門看護師
谷口 泰代	兵庫県立はりま姫路総合医療センター 循環器内科 副院長 総合内科部長
戸田 宏一	獨協医科大学埼玉医療センター 心臓血管外科 主任教授
野里 陽一	大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学助教
西本 泰久	京都橘大学健康科学部 健康科学研究科 客員教授
森井 功	仙養会北摂総合病院 副院長 救急診療科部長 循環器科
越智 恭子	JECCS 循環器専門ナース研修常任講師
中 麻規子	広島大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター 慢性疾患看護専門看護師

(3) 多職種症例検討会

心臓病に関わる多職種の医療従事者が混成グループによる議論を通して、他の職種とのコミュニケーションの意義とその方法を知り、実践に生かす。

2022 年度からスタートし、今年度は第 4 回、第 5 回を開催。

講師：梶山 徹 先生（北野病院 緩和ケア科部長 兼緩和ケアセンター長）

開催日：＜第 4 回＞2024 年 6 月 9 日（日）

「臨床現場での ACP～意思決定支援から希望実現～」

参加者：21 名

＜第 5 回＞2024 年 10 月 27 日（日）

「臨床現場での ACP～緊急 ACP と終末期 ACP～」

参加者：24 名

2024 年度事業報告書

(4) 生活習慣病セミナー

今年度より、森永乳業クリニコ㈱の後援を受け、新しく幅広い疾病予防・治療につながるテーマで講演とディスカッションを行なう医療者向けセミナーを開始。今年度は6回の開催で、延べ1,500名を超える参加者を得た。(次年度からは「多職種協働セミナー」に改称)

《企 画・司 会》

真壁 昇先生 (JECCS 理事、関西電力病院 栄養管理室長)

《コメンテーター》

佐古 守人先生 (東住吉森本病院 薬剤部 臨床薬剤科 科長)

《開催日・講師・演 題》

<第1回>2024年4月10日(水) 参加者:164名

水野 英彰 先生 (目白第二病院 副院長)

『生活習慣が影響する！？腸内環境に着目した栄養ケアと薬剤』

<第2回>2024年5月8日(水) 参加者:180名

齊藤 大蔵 先生 (海老名総合病院 医療技術部 栄養科 科長代理)

『食事療法と薬物療法のクロスオーバー ―協働で目指す健康への道―』

<第3回>2024年9月11日(水) 参加者:476名

西岡 心大 先生 (長崎リハビリテーション病院 栄養管理室長)

『本年度診療報酬で示された「GLIM基準」～真の評価が出来ているか？～』

<第4回>2025年1月8日(水) 参加者:323名

宮澤 靖 先生 (東京医科大学病院 栄養管理科 科長)

『現場発！高齢者の栄養サポートのポイント』

<第5回>2025年2月12日(水) 参加者:218名

飯坂 真司 先生 (淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科 教授)

『高齢者の皮膚を栄養で守る～スキNFLレイルって何？～』

<第6回>2025年3月12日(水) 参加者:162名

高橋 路子 先生

(神戸大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科特命講師／栄養管理部部長)

『減量外来の最新知見 ～満たされる食事で心と体を健幸に～』

(5) 一日で学ぶ 医師・薬剤師・看護師・検査技師のための「心電図集中講座」

医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師等を対象に、基礎から応用まで、1日で学ぶ講座。

開催方式:Web 講義

講 師:ジェックス理事 (高階経和先生、木野昌也先生、小糸仁史先生)

開 催 日:2024年11月9日(土) 13:30~18:30 参 加 者:36名

2024 年度事業報告書

(6) ジェックス理事 Web 特別講義（ジェックス理事による専門分野研修会）

ジェックス理事が担当して専門分野をさらに詳しく勉強するための研修会

開催方式：Web 講義

① 「今さら聞けない内因性救急疾患への対処」

～循環器救急が重要～

〈開催日〉：2024 年 10 月 5 日（土）14:30～16:00

〈講師〉：ジェックス理事 宮崎俊一先生

参加者：会場 2 名、Web 18 名

② 「不正脈を治せば心不全が治る」

～心不全治療における不整脈治療の重要性～

〈開催日〉：2024 年 12 月 14 日（土）14:30～16:00

〈講師〉：ジェックス理事 猪子森明先生

参加者：会場 4 名、Web 24 名

(7) ナース・ステップアップ・セミナー（オンデマンド）

看護師を中心に医療従事者会員向けの講義をオンデマンド配信開始。

事前に看護師会員に対してアンケートを実施し、要望の多い内容にもとづき演題を決定。

症例をふまえた、臨床に役立つコンテンツを 1～2 か月に 1 本ずつ会員コンテンツに無料でアップしている。会員は、都合の良い時間に自由な環境で聴講することができる。

2. 医療従事者に対する上記事業の情報提供・広報事業

(1) 機関誌、ホームページを通じた情報提供

年 2 回刊行の当法人機関誌「ニュースレター」やホームページを通じて上記研修事業等についての情報を提供。

また、Facebook などの SNS の活用、会員等への一斉メール配信とともに、研修会のフライヤーを作成し会員に郵送するなど、多面的に研修会等の情報を発信。

(2) その他、医療従事者のためのホームページコンテンツの充実

緩和ケアブログ・理事長ブログの連載、セミナーのオンデマンドなど、医療従事者のためのコンテンツの充実をすすめており、今後も引き続き進めていく。

公益目的事業 2. 一般市民を対象にした生活習慣病予防のための知識普及・啓発事業

1. 一般市民を対象に生活習慣病予防のための公開講座・セミナー事業等を開催。

(1) 生活習慣病研修会（一般市民向け）

会場参加と Web 参加を組み合わせた研修会として開催。

開催日・テーマ：下記の通り。（参加者：会場 62 名、Web 64 名 合計 126 名）

時 間：14:00～15:30

会 場：ジェックス研修センター

2024 年度事業報告書

開催日	テーマ	講 師
2024 年 5 月 29 日(水)	『10 年後も元気に過ごすための体作り』 (会場 12 名, Web 16 名)	管理栄養士 日本糖尿病療養指導師 中本 絵里 先生
6 月 19 日(水)	『そろそろいかが：あなたも私もおくりびと』 (会場 11 名, Web 8 名)	医療法人成仁会吉河病院院長 社会福祉法人五十鈴会理事長 吉河 正人先生
9 月 11 日(水)	『目の健康寿命を延ばそう！！』 (会場 11 名, Web 8 名)	尼崎中央病院 竹田 朋代先生
10 月 9 日(水)	『最期まで健やかに食べるために ～作業療法士が考える食事の姿勢～』 (会場 8 名 Web 9 名)	YOU 医療保健福祉研究所 訪問看護・リハビリテーションセン ターYOU 統括所長 尾中 準志 先生
11 月 13 日(水)	『どうして循環器医が糖尿病治療に積極的に 取り組むのか？』 (会場 4 名 Web 8 名)	北摂総合病院 副院長 循環器科 森井 功 先生
2025 年 1 月 22 日(水)	『昔馴染みとの付き合いは健康に役立つ か？～運動器障害と認知症に関する考察』 (会場 14 名 Web 9 名)	医療法人六人会 ロクト整形わたなべ 渡邊 晋 先生
2 月 5 日(水)	『「何を？」「どれだけ？」食べるかに「い つ？」のスパイス～「いつ食べるか？」に着 目した時間栄養学からみた食事法～』 (会場 13 名 Web 14 名)	合同会社おもびよ 山本 純美 先生

(2)一般市民向け特別講演

今回、一般市民向けに、これまで問い合わせが多い「ペースメーカー」について、循環器専門ナース研修講師でもある西本泰久先生による講演を企画し開催。多くの方に聴講いただけた。

演題「誰でもわかる！心臓ペースメーカーのお話」

〈開催日〉：2024 年 4 月 6 日（土）14:30～16:00

〈講師〉：京都橘大学 健康科学部教授 西本 泰久先生

〈参加者〉：会場 14 名、Web 21 名

2. 一般市民に対する情報提供・広報事業

(1) 一般市民に対する広報事業

ホームページに事業内容、セミナー等の内容を掲載するとともに「あなたの症状は？」のページでは、生活習慣病予防の基礎知識について情報提供を行っている。「あなたの症状にお答えします」のサイトでは、一般市民から自分の症状に対する質問や相談が多数メールで寄せられ、ジェックス会長などがその都度適切な回答を行った。

また、医療従事者向け事業と同様に、当法人が発刊する機関誌「ニューズレター」を通じて一般市民に情報提供や知識啓発等を図るとともに、会員及び登録者には研修会案内フライヤー等の送付、SNS 発信、一斉メール配信などで、さらに周知を行っている。

2024 年度事業報告書

(2) 月刊誌「ニューライフ」への寄稿事業

大阪府を中心に発行部数 18 万部の月刊誌「ニューライフ」に当法人会長が毎月ボランティアとして生活習慣病予防や医療制度について解説する記事を継続して寄稿。

発行・編集：株式会社ニューライフ

公益目的事業 3. 臨床心臓病学に関する医師、看護師及び医学生向け海外研修の参加費用助成事業

1. 助成事業：臨床心臓病学に関する医師、看護師、医学生向け海外研修の参加費用助成

「看護師のためのオーストラリア緩和ケア研修助成事業」

世界的な COVID-19 の拡大以降、オーストラリアへの入国には制限があるとともに、先方の受入体制もまだ十分に整っていないことから、今年度の募集を行うことができなかった。

来年度は、当該事業をどのように進めていくかを実施方法なども含めて十分に検討し、今後の方向性を定めることとしたい。

2. 上記事業の情報提供・広報事業

上記の通り未実施のため、情報提供や広報事業も行っていない。

【事業報告書の附属明細書】

当該年度については、事業報告書に記載した以外の補足すべき重要な事項はないので、附属明細書は作成しておりません。